

国語科学習指導案（2年3組）

- 1 単元 描写に着目して読み、映像化を通じてタオルが何を象徴しているのか考え、作品の解釈を深めよう
- 2 単元の目標及び評価規準

目 標	(1) 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。 (2) 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。 (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。		
	本単元における言語活動：描写に着目して読み、映像化を通じてタオルが何を象徴しているのか考え、作品の解釈を深める。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	①情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。 (2)イ	①「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 C(1)イ	①進んで情報を整理しながら登場人物の言動や表現の効果などについて考え、今までの学習を生かして映像に表すことを通じて解釈を深めようとしている。

(1) 教材観

本単元は、タオルの象徴性を表す描写に着目して読み、タオルの象徴性を表すような映像化活動を通じて、登場人物の言動などについて生徒一人一人が考え、内容解釈を深めるものである。

人物の関係性について情報を整理する活動では、描写に着目して集めた情報を図式化する活動が有効である。本作品では、祖父の死を受け入れることができている少年が人物との交流や過去に触れることで最後には受け入れることができるようになるが、本文中に書かれている情報を図式化しながら整理することで、人物がどのような思いを抱いているのか、また人物同士がどのような関係性であり、登場させた意図は何かといった、作品への解釈を深めるために情報を整理する力を高めることができる。タオルの象徴性を表すような映像を作成する活動では、「象徴」という学習用語を手掛かりに、教科書本文に立ち返りながら本文に書かれていない登場人物の行動や心情にも思いを巡らせ、作品の内容を整理しながら登場人物の言動の意味を考えることで解釈を深めることができる。また、一人一人が作成した映像を、観点をもって共有することで、本作品の読みの解釈をより深めたり広げたりすることができる。

(2) 生徒観（男子 16 名、女子 17 名 計 33 名）

- ・知識・技能については、説明的文章の「日本の花火の楽しみ」における花火の仕組みや様子を図式化する活動において、生徒は叙述を選びながら図と関連付けてまとめることができていた。これは、第1年次から図式化する活動を積み重ねてきたことと、クラウド上に保存された成果物を見返しながら活動に取り組みさせたことが要因である。
- ・思考・判断・表現については、文学的な文章「夏の葬列」における振り返りの記述から、場面の情報を整理しながら自分の考えをまとめる力は身に付いている。これは、人物関係図を作成したりスタディログを活用したりして本文の内容を整理することで、人物について多角的に考えることができているからである。しかし、グループや全体での話合いの様子から、なぜ人物がそのような描かれ方をしているのか、人物の言動が物語にどのように関わっているかを考える力が身に付いていない様子が見られた。これは、登場人物の言動が物語にどのように関わってくるかについて、生徒が学習用語を手掛かりにしながら読みの解釈を追究するような話合い活動ができていなかったことが原因である。
- ・主体的に学習に取り組む態度については、文学的な文章「少年の日の思い出」における映像化活動の様子から、教科書本文の描写を基に映像化しながら作品に対する解釈を深めようとしていた。しかし、映像や記述の分析から、一人一人が作品に対する解釈を深めることができている生徒もいた。これは、グループで分担して行ったため、一人一人が教科書本文に何度も立ち返りながら、学習用語を手掛かりに人物の言動や表現の効果を考えられなかったことが原因である。

4 指導と評価の計画（全7時間計画）

過程	時間	◎目標・課題	○学習活動	重点	記録	備考
つかむ	1	◎反転学習で抱いた初発の感想と疑問点を学級全体で共有する活動を通して、読みの課題を設定することができる。 タオルの「読みの課題」を設定しよう。	○反転学習を通じて抱いた感想や疑問点を、AI テキストマイニングを用いて整理する。 ○生徒の感想や疑問を基にして、読みの課題である「なぜ、作者はタオルを『象徴』としたのか」について考える。			
	単元の課題：描写に着目して読み、映像化を通じてタオルが何を象徴しているのか考え、作品の解釈を深めよう。					
追究	2	◎少年の心情について描写を基に図式化する活動を通して、少年の心の動きとシライさんが少年を導いていることに気付くことができる。 主人公は、なぜ最後に涙を流すことができたのだろうか。	○冒頭から結末まで少年の心情が表れている描写を抜き出し、図式化して整理する。 ○整理した図式を基に、シライさんを登場させた筆者の意図を考える。	知	○	知①：記述分析 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し、少年の心の動きやシライさんの言動を関連付けながら記号等を使って表している。
	1（本時）	◎タオルの象徴性を表している描写やそれに関連する描写に注目し、予備撮影を通じてタオルが何を象徴しているのかについて考えることができる。 タオルは何を象徴しているのだろうか。	○タオルの象徴性を表す描写を個人で考える。 ○教科書に立ち返りながら、タオルの象徴性を表す映像を予備撮影として作成する。 ○予備撮影したものを基に、本時の課題に迫れたか振り返り、全体で共有する。	思	○	思①：記述分析 「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。
	1	◎予備撮影したものを基にしながら本文に立ち返ることを通して、読みの課題について考えることができる。 タオルの「象徴性」がより伝わる映像にするには、どうしたらよのだろうか。	○前時で予備撮影した映像を基に、再度教科書に立ち返りながら文章には書かれていない人物の思いをどのように表現するか検討する。 ○本時までの学習事項を生かしながら映像化を行う。			
すすめる	1	◎観点をもって映像を共有する活動を通して、読みの解釈を深めたり、広げたりすることができる。 タオルが象徴しているものは何だろうか。	○象徴に迫れた場面となっているか、課題に迫る工夫が施されているかという観点をもって映像を共有する。 ○共有を通じて深まったことや、新たな読みの発見をまとめる。	思		本時は、C(1)オに基づいて学習状況を捉え指導を行うが、単元の目標としていないことから、本単元の評価には含めない。
	1	◎初発からこれまでの学習を学びの蓄積から振り返る活動を通して、読みの課題に対する自分の考えをまとめることができる。 作者がタオルを「象徴」としたのはなぜだろうか。	○「なぜ、作者はタオルを『象徴』としたのか」という初発の問いについて自分の考えを再度まとめる。 ○本単元の学びを振り返る。	態	○	態①：映像分析 記述分析 進んで情報を整理しながら登場人物の言動や表現の効果などについて考え、今までの学習を生かして映像に表すことで作品の解釈を深めようとしている。

5 問題解決の過程における ICT 活用の位置付け

ICT の活用のポイント **個** **協**

つかむ

1 読みの課題を設定する。

○反転学習で抱いた初発の感想と疑問点を学級全体で共有する。

- ・反転学習を通じて抱いた感想や疑問点を、AI テキストマイニングを用いて整理し、全体で共有する。
- ・生徒の感想や疑問を基にして、読みの課題である「なぜ、作者はタオルを『象徴』としたのか」について考える。

個 教師の解説も交えた反転学習を行うことで、生徒一人一人が個別に授業前に感想や疑問点をもち、授業に参加できるようにする。

協 個別に持ち寄った感想や疑問点を AI テキストマイニングで整理することで、全体で読みの課題を設定できるようにする。

2 課題の解決に向け、タオルの象徴性を追究する。

○少年の心情変化を図式化して整理する。

- ・シンキングツールを用いて、冒頭から結末までの少年の心情変化を整理する。
- ・少年の心情が変わったきっかけが何かを考える。

個 ロイロノートのカードとシンキングツールを活用することで、登場人物の人物像や関係性を整理することができるようにする。

○シライさんを登場させた筆者の意図を考える。

- ・前時にまとめたシンキングツールを基に、シライさんが少年の心情を変えた重要人物であることを確認する。
- ・シライさんの、少年や祖父に対する思いをまとめる。

協 ロイロノートの共有ノート設定を活用して、生徒一人一人が人物像を表す描写に注目することで、互いの考えを示しながら多角的にまとめることができるようにする。

○予備撮影を通じ、タオルが何を象徴しているのかについて考える。

- ・タオルの象徴性を表す描写を検討する。
- ・教科書本文に立ち返りながら、タオルの象徴性を表す映像を予備撮影として作成する。
- ・予備撮影をしたものが本時の課題に迫ったものであるか検討する。

個 学びの蓄積を活用することで、予備撮影に向けてどの描写が課題に迫るのにふさわしいか考えることができるようにする。

追究する

○一人一人が予備撮影したものを基に本文に立ち返る。

- ・前時で予備撮影した映像を基に、再度教科書に立ち返りながら文章には書かれていない人物の思いをどのように表現するか検討する。
- ・本時までの学習事項を生かしながら、課題に迫った映像化を行う。

協 予備撮影をしながら採用した描写について他者と検討することで、読みの課題を意識しながら撮影を行い、登場人物の言動の意味について考えることができるようにする。

○観点をもって作成した映像を共有する。

- ・象徴に迫れた場面となっているか、課題に迫る工夫が施されているかという観点をもって、映像を共有する。
- ・共有を通じて深まったことや、新たな読みの発見をまとめる。

協 作成した映像を共有ノートで確認し合うことで、他者の作成した映像と自身が作成した映像と比較しながら課題について考えることができるようにする。

協 観点をもって他者と作成した映像について検討することで、読みの解釈を広げたり深めたりすることができるようにする。

3 読みの課題に対する自分の考えをまとめる。

○これまでの学習を、学びの蓄積を基に振り返る。

- ・「なぜ、作者はタオルを『象徴』としたのか」という初発の問いについて自分の考えを再度まとめる。
- ・本単元の学びを振り返る。

個 本時までの学びの蓄積を見返すことで、初発に掲げた読みの課題に対する自分の考えをまとめることができるようにする。

協 読みの課題に対する自分の考えを共有することで、他者の考えを取り入れながら再度自分の考えをまとめることができるようにする。

まとめる

6 本時の展開 (4/7)

(1) 目標

タオルの象徴性を表している描写やそれに関連する描写に注目し、予備撮影を通じタオルが何を象徴しているのかについて解釈することができる。

(2) 展開

＜「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるためのICTの活用＞

- 個** 学びの蓄積を活用し、読みの課題に迫れているか予備撮影をしながら考える。
- 協** 予備撮影をしながら他者と登場人物の言動の意味を検討し、読みの課題について考える。

主な学習活動		指導上の留意点及び支援・評価
予想される生徒の反応	ICT活用<分類>	
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>○前時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年の心情変化と、シライさんの思いをまとめたな。 ・タオルの象徴性を表しているような映像化ができるように、どの描写が相応しいか考えるぞ。 	<p>○本時までの学びの蓄積を振り返る。〈思考の整理〉</p>	<p>○前時の活動を振り返ることで、少年やシライさんの描写に注目しながら活動に取り組むことができるようにする。</p> <p>○これまでに行った映像化の活動を振り返ることで、人物の言動が表れている描写や本文には書かれていない表情や仕草を、読みの課題に沿って考えられるようにする。個</p>

課題：タオルは何を象徴しているのだろうか。

<p>2 描写を検討する。</p> <p>○予備撮影に向けて、タオルの象徴性を表している描写やそれに関連する描写を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年が最後に、タオルを結んで涙を流す描写が欠かせないな。 ・シライさんと父親との会話シーンも必要だな。 <p>3 撮影を行い課題に迫る。</p> <p>○他者と協力しながら撮影し、タオルの象徴性を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真にも出てくる祖父のタオルは、少年だけでなく父親とシライさんの思いも表れているね。 <p>○撮影した描写を基に深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年が祖父を感じるタオルを縛るシーンは象徴性があるね。 ・祖父がタオルを縛っているシーンも、少年が回想をしている描写として必要だね。 <p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>○予備撮影を経て、タオルの象徴性について現時点で分かったことや疑問点をまとめ振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タオルには、登場人物の思い出が詰まっていることが実際に演じてみて分かった。 ・シライさんが少年を導き、そしてタオルを縛ることで祖父の死を受け入れられたのだな。 	<p>○学びの蓄積を活用しながら、扱う描写を検討する。アイデアはシートにまとめる。〈思考の整理〉〈思考の可視化〉</p> <p>○動画の撮影、確認を繰り返し、試行錯誤しながら人物の言動の意味を考える。〈データの蓄積〉</p> <p>○本時の学びを蓄積する。〈データの蓄積〉</p>	<p>○学びの蓄積を活用させることで、一場面に限定することなく、少年やシライさんの言動に注目しながら考えることができるようにする。個</p> <p>○撮影前に、グループで自分の撮影の方向性を発表し合うことで、根拠をもって映像化することができるようにする。協</p> <p>○撮影をしながら互いに動画を見合い、教科書本文に立ち返りながら検討することで、協働的に読みの課題に迫ることができるようにする。協</p> <p>○タオルがどのようなものとして描かれているのか注目させることで、祖父が生きていた証であると考えられるようにする。</p> <p>○予備撮影したものを分類して全体で共有することで、タオルの象徴性に関わる描写に注目できるようにする。</p> <p>○挙がった場面について生徒の考えを引き出していくことで、生徒の言葉を基に課題に対する考えを深めていけるようにする。</p> <p>○撮影したものをシートに蓄積することで、これまでの学習内容と関連付けながら読みの課題に迫ることができるようにする。個</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>シライさんや父親が祖父のことについて話している描写、少年がタオルを実際に縛る描写から、タオルは祖父を象徴していると解釈した記述をしている。 (記述分析)</p> </div>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

＜まとめ・振り返り＞

- ・タオルは祖父を象徴している。少年は、祖父のタオルを縛ることで祖父の死を受け入れることができたが、タオルを縛るまでにシライさんや父親との会話や過去に触れる体験があったからこそ、縛ったタオルに祖父が生きていた温もりを感じられたのだろう。